公開シンポジウム ～学生・研究者・市民の発表会＆交流の場～

霞ヶ浦流域研究2025

2025年 3月2日（日）

会場：レイクエコー（茨城県鹿行生涯学習センター）１階　大研修室
12：30～16：00　（受付開始 11：45）
参加費無料，参加登録 2/24（月）まで（定員先着100名）
参加登録はホームページから　（https://www.cwes.ibaraki.ac.jp/）

プログラム

＊プログラムや発表者（共同発表者を含む）の詳細は、茨城大WEBでご確認ください。

12:30 開会
12:35 口頭発表（前半）
- 淡水湖北浦におけるスズキ当歳魚の生息環境特性と餌利用　山川 薫　（茨城大）
- 霞ヶ浦におけるシラウオの産卵期　山崎幸夫（茨城県水産試験場）
- 霞ヶ浦におけるオオタナゴ *Acheilognathus macropterus* の産卵特性　萩原富司（土浦の自然を守る会）

13:20 休憩
13:35 口頭発表（後半）
- 霞ヶ浦土浦入におけるアオコの発生状況　木村夏紀（茨城県霞ケ浦環境科学センター）
- 霞ヶ浦（北浦）湖底堆積物の物質循環系DNAメタゲノミクス　正田岳志　（茨城大）
- マイクロプラスチックに曝された汽水性二枚貝ヤマトシジミの開閉運動と抗酸化力の応答　早川圭亮　（茨城大）
- 北浦における長期計測データの解析と機械学習を用いた再現検証　五味巧真　（茨城大）

14:50 ポスターセッション＆意見交換会
15:50 閉会

参加登録はコチラから

ポスターセッション　25題

＊コアタイム　奇数番号 14:50-15:15、偶数番号 15:20-15:45

1. 農業用二価鉄製剤を用いた水中リン除去実験 / 2. 霞ヶ浦（北浦）流域生態系における薬剤耐性細菌の分子遺伝生態学的解析 / 3. 高解像度数値モデルを用いた霞ヶ浦における吹送流解析 / 4. 安価な市販「塩分計」の感潮河川・汽水域調査への活用に関する簡易的検討 / 5. 市民参加による霞ヶ浦水質調査の意義と成果 / 6. 二酸化炭素固定の促進に向けた石炭灰造粒物の導入がヤマトシジミに及ぼす影響 / 7. 過去の航空写真およびドローン撮影による湖岸植生帯の調査手法の検討：霞ヶ浦北浦の例 / 8. 茨城県波崎海岸におけるマイクロプラスチックの特徴とその分析方法の検討 / 9. 茨城県波崎海岸における前浜堆積物の特徴と堆積侵食過程の観察 / 10. 茨城県涸沼沖帯における底質の粒度分布の特徴 / 11. 帰還困難区域の山地渓流におけるサワガニの放射性セシウムの動態 / 12. 帰還困難区域の森林小河川における渓流魚の放射性セシウム濃度の推移 / 13. 帰還困難区域における渓流魚の放射性セシウムの蓄積について －野外調査と室内実験からの考察－ / 14. 霞ヶ浦（北浦）のオオユスリカ*Chironomus plumosus* 幼虫密度の長期変遷とそれに影響する要因について / 15. 湾岸埋立地の再生塩性湿地クリークでの微地形管理手法の検討 / 16. 菅生沼（上沼）における魚類の生息状況 / 17. 関東地方におけるヨコシマドンコの分布状況 / 18. 霞ヶ浦北浦産魚類目録改訂の試み / 19. 2020-2023年の霞ヶ浦および北浦における漁獲量の季節変化 / 20. ナガエツルノゲイトウ帯の外縁部と内部での魚類・エビ類の生息環境特性 / 21. 北浦のヨシ帯における魚類群集の経年変化－ヨシ帯の縮小と高水温化に注目して－ / 22. 北浦流入河川におけるハゼ科2種の流下仔魚の時空間的分布特性 / 23. 北浦流域におけるGISを用いた潜在的魚類分布の推定－近年の多地点調査データに基づく解析 / 24. 北浦流入河川におけるトウヨシノボリ稚魚の遡上の日周・季節変動と環境特性 / 25. ナマズの力を生かした革新的プロダクト戦略～環境との共生を促す、持続可能な製品づくり～

主催：茨城大学地球地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション，霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム
問い合わせ先：　TEL: 0299-66-6886, E-mail: suiken@ml.ibaraki.ac.jp 担当：　関口・金子
＊当ステーションは、文部科学省により認定された国内初の湖沼の教育関係共同利用拠点です。